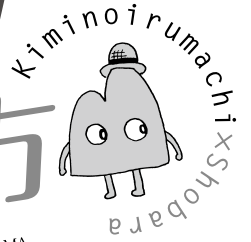




君のいる町 × 庄原市

Hiroshima



©瀬尾公治・講談社/2013「君のいる町」製作委員会

▲聖地巡礼を呼びかけるパンフレットとチラシ

アニメの舞台「庄原市」をPR

「君のいる町」テレビアニメ化でコラボ事業

商工観光課観光振興係 ☎ 0824-73-1179



▲観光施設4カ所以上で等身大パネルまたはARのキャラクターと記念撮影した方には、「君のいる町」の特製クリアファイルを先着300人にプレゼント
 ※AR(拡張現実)とは、スマートフォンなどの画面に仮想的に作られた画像などの情報を重ねて実物と一緒に表示する技術。



▲たかの温泉神之瀬の湯に設置された声優のサイン色紙

庄原市は、本市出身の漫画家・瀬尾公治さんが週刊少年マガジンに連載している「君のいる町」のテレビアニメ化を起爆剤に、アニメの舞台となつている庄原市を広くPRし、観光誘客を図るため、7月下旬から広島〜庄原間を走る高速バス2台にラッピング(車体広告)を行うなど、「君のいる町」コラボレーション事業を実施しています。

車体のラッピングには、「君のいる町」のメインキャラクター枝葉柚希(えばゆずき)のイラストや、「聖地巡礼・庄原の旅」の文字を入れて、アニメの舞台となった庄原市をPR。そのほか、「道の駅たかの」など観光拠点施設では等身大パネルを設置し、聖地巡礼パンフレットやチラシを配布するなど、観光客の回遊を仕掛けていきます。



▲キャラクターがラッピングされた高速バス

また、ファンが楽しめる拠点を作ろうと、アニメに登場した「たかの温泉神之瀬の湯」に、声優のサイン色紙などを展示したほか、田園文化センターでは、瀬尾公治さんゆかりの品々を集めています。

近年、漫画・アニメなどの熱心なファン心理から、自身の好きな著作物などに縁のある土地を「聖地」と呼び、実際に訪れる「聖地巡礼」がブームとなっており、8月中旬から関東を中心に全国各地からファンが庄原市を訪れています。

このコラボレーション事業は、テレビアニメが終了する10月中旬まで実施します。